



亀鶴八幡神社例大祭の神祇（油木）10月13日撮影



柏床よしおの  
**よっしー通信**

2024年10月 16号

発行 柏床由夫後援会  
神石高原町油木乙23番地2 Tel (0847-82-2022)  
<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>  
Email [kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp](mailto:kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp)

**【9月定例会】**

9月定例会は、9月4日から25日まで開会され、2023年度（令和5年度）決算の認定。総額3億81万円の補正予算や、条例改正など30議案が原案どおり可決。一般質問は9人の議員が行いました。

2023年度（令和5年度）

一般会計決算 128億6720万円（歳入）

一般会計地方債残高 136億円

基金総額（貯金） 118億円

2023年度（令和5年度）、一般会計の当初予算額は総額、120億2000万円です。スタートし、歳入決算額は、128億6720万円の決算額となりました。一般会計歳入済額は昨年

に比べ、▲1億129万円余り、率にして0.8%の減となりました。主要因は、繰越金3億9316万円、県支出金3億5888万円などの減によるものです。歳入済額のうち、町税等の自主財源は31.4%で昨年よりも5.6ポイントの増となっています。

また、歳入のうち、地方交付税は40.4%、繰入金11.8%、町債10.2%、国庫支出金8.2%、町税7.3%、寄付金6.4%でこの6科目で84.3%を占めています。経常収支比率は81.2%となっています。一般会計の基金の期末残高は111億346万円、昨年より7億1370万円の減額となっています。普通会計の町債（借金）残高は合併時、220億円ありましたが、年度末残高は136億円となり、町民一人当たり約170万円の借金となっています。

**9月補正予算**

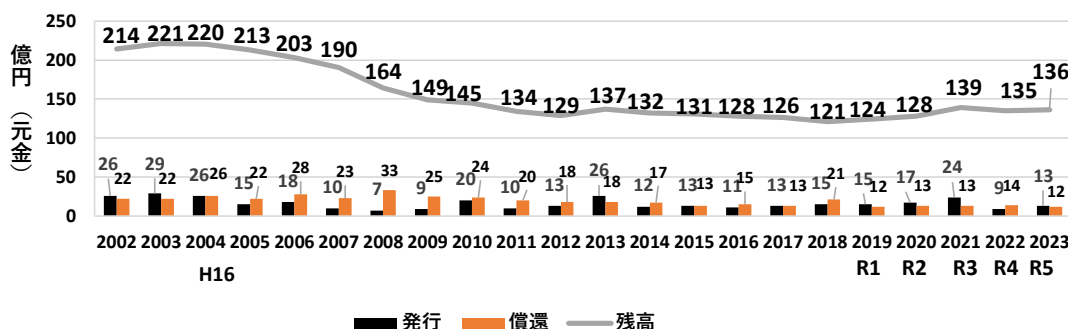
（一般会計）

3億81万円補正

9月補正額の主なものは、旧坂瀬川公民館・坂瀬川老人集会所解体工事2419万円、かがやきネット管理経費600万円、地籍調査事業費▲3358万円（交付決定額の減額による）、病院事業会計補助▲1229万円、保険・医療・福祉支援事業基金積立金1392万円、農業集落排水事業営業費用173万円、旧百彩館雨漏り改修工事費597万円、工場等設置奨励事業・上下水道整備240万円、町道維持補修経費5130万円、支障木伐採277万円、町道市場野田丸線整備1970万円、町道上組城江線整備573万円、町道郷仙養原牛の首線整備2000万円、河川護岸補修577万円、町営住宅修繕1329万円、現年発生農地及び農業用施設災害復旧事業5898万円、現年発生

道路橋りょう災害復旧事業5267万円、道路橋りょう小規模災害復旧事業500万円など補正。

**一般会計地方債の状況**





## 柏床議員の一般質問

### 学校のICT教育につ

いて

問 タブレットを活用した学習評価は。

学習評価は。

答 主体的・多様な学びに

効果的。

柏床II GIGA (ギガ) スクールでの、各学校の通信環境の課題は。

教育長II 複数の児童生徒が一斉に検索するときや、教室以外の場所で検索するときなど、場所によっては繋がりにくい場合がある。

柏床II 本年4月に文部科学省が通信環境の基準を示しているが、各学校の状況は。

教育課長II 各学校でかがやきネット1ギガプランで契約し使用しており、現在は国の基準をクリアしている。

柏床II 学校現場で、現在もつながりにくいときがある。と聞くが原因は。

教育課長II つながりにくい事案があったが、専門業者によるWiFiの環境や機器調整など、現在改善を図っている。

柏床II 現在、使用中のタブレットの課題は。

教育長II 写真や動画の保存容量が少ないことや、ソフトのインストール数に制約がある。要因は、メモリー容量の不足や処理速度が十分ではないことが考えられる。

機器のスペックは、小中学校とも統一した機器である。柏床II パソコン教室の活用状況は。

教育長II 総合的な学習の時間での調べ学習や資料印刷、図工・美術・技術科の授業などに活用している。

また、委員会活動やクラ

ブ活動などでも活用している。

柏床II 委員会活動やクラブ活動での活用内容は。

教育課長II 委員会活動での資料作成や小学校では文化部カレンダー作成などで活用している。

柏床II 各学校でのタブレットを活用した学習内容の状況と、評価と課題は。

教育長II タブレットの活用状況は、校長研修や各校のICT担当者研修や、各研修での研究授業や授業参観などで状況把握している。

学校間格差については、授業での活用方法など格差は学校間でないとは言えない。

GIGAスクール構想の評価は、児童生徒の主体的な学びや多様な学びに効果的であると考えている。

課題は、指導者が授業を構成する中で、タブレットやICT機器を活用する機会を設定することや、タブレットを効果的に活用した授業に向けた授業スキルの向上が必要と思われる。



柏床II 油木小学校5年生と豊松小学校5年生がそれぞれの教室でICTを活用した合同学習の取り組みは。

教育長II これまでの合同学習は少人数で固定した集団での学習になる。

メリットもあるがデメリットもある。子どもたちの多様な学びはお互いにとってプラスになる。

これまで1学期に1回で行った。今後、豊松小学校と油木小学校のみならず、他校とも連携しながら、視野に入れて行きたい。

柏床II 学校間の格差解消は。教育長II 小中学校7校有るのは強みと受け止めている。格差解消に向け、校長研修

や各学校のICT担当者の研修や状況や、効果的な活用など積極的に交流を行っている。授業参観などで、各校の格差がないような取り組みを行っている。

柏床II ICT支援員制度の取り組み状況は。

教育課長II 専門業者にお願いし、各校を巡回している。基本は、各校月1回程度だが、要請があれば必要に応じて対応したい。

柏床II 令和7年度からのタブレットの更新方法と更新後の旧タブレットの活用方針は。

教育長II 更新方法は、広島県内の市町で構成する広島県GIGAスクール推進協議会で、県及び各市町の調達方式について整理している段階であり、タブレット端末の共同調達を計画である。

また、旧タブレットの活用方針については、更新後に制約がない場合は、活用方法を検討したい。



# 農業振興について

柏床II農家の高齢化が進み、生産も減少する状況にあるが、基幹産業である農業の活性化について今後の方針は。

町長II農家の高齢化だけでなく若者の農業離れ、新規就農する際の資材費高騰の問題など農業を取り巻く課題は、山積している。

解決策として、基盤整備、若者に魅力のある高収益作物の栽培、赤と黒のプロシエクトなど農業振興協議会でも議論しているところがある。

大きな課題であると認識しているので、今後も継続して協議して行く。

柏床II資材高騰でトマト農家の新規就農募集も中断しているが、新規就農の今後の方針は。

また、今後の農業施策の方向性はどの様に考えるのか。

町長IIトマトの新規就農募集については、未だ資材の高騰が続いており、研修の再開は困難な状況である。

既存の農家で離農される方がおられれば、そのほ場を継承し、初期投資を抑えることができるが、それも毎年ある状況ではない。

既存農家の規模拡大と併せ、資材高騰等の状況もみながら、あらゆる方法を検討し生産量を確保できるように努めて行く。

農業施策の方向性については、生産コストに見合った販売価格となるよう、国や県に働きかけ、販路の拡大を加速化し、農業者の所得向上に取り組みたい。

柏床IIじんせき高原牧場など地元経営体などと連携した飼料作物生産など、荒廃地防止も含めた農地利活用の考えは。

町長II現在、じんせき高原牧場は、町内農業法人との委託業務として、デントコーンを栽培し、それを乳牛の飼料として利用されている。

そのほ場は、耕作放棄地の活用ではない。

今後、町内の経営体から、相談があれば耕作放棄地も含め、ほ場の紹介を行いたい。

柏床II農村型地域運営組織（農村RMO）について、町の考えは。

町長II本町は、農村RMOは基本推奨しますが、地域の事情により不可能な事もあるので、一つの手段として捉えている。

この農村RMOは地域内に存在する各種団体で構成する組織により①農地の保全、②地域資源の活用、③買い物支援などの生活支援、の3項目をすべて行うものであり、若者や担い手が居る地域にとっては有効な方法だと思っています。

取り組みを希望される地域があれば町もバックアップをしたい。

## 農村RMO (Region Management Organization) とは...

地域運営組織 (RMO) とは、地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織のことです。

Region (地域) の「R」、Management (運営) の「M」、Organization (組織) の「O」の頭文字をとって「RMO」と呼び、そのうち農村を対象とし、

**複数集落による集落協定や、農業法人等の農業を母体とした組織が自治会や町内会、社会福祉協議会等の、地域の多様な関係者と連携して協議会を設立し農用地の保全 地域資源の活用 生活支援 の3つの事業に取り組む組織**



を、農村型地域運営組織「農村RMO」と呼びます。

9月議会でのその他の議案など

専決処分とは

専決処分（せんけつしよぶん）は、本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方公共団体の長が地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいいます。

専決処分には、179条に基づく専決処分と、180条に基づく専決処分の2種類があります。

9月議会での専決処分の承認議案

神石支所改修工事請負契約の請負金額と工期の変更  
1億484万3200円を1億916万4440円に増額変更。

工期 至 令和6年9月30日

工事請負契約の承認

工事請負契約の請負金額が5000万円を超えるものは議会の議決が必要。

油木スポーツ広場サッカー場建設工事（旧油木中学校）  
請負金額 3億4980万円  
請負者 村上建設株式会社  
工期 自 9月26日  
至 令和7年3月31日



旧油木中学校グラウンド 10月12日撮影

（生芝がはがされています）

生芝の一部は、小野社会教育施設へ活用されました



油木山村開発センター改修  
請負金額 6982万8千円  
請負者 有限会社 井上組  
工期 自 9月26日  
至 令和7年3月21日  
（屋内改修工事中）

今の旧油木百彩館

改修中の旧百彩館。  
（リ・クリエイト・ベース）  
建物の塗装も済み、外観が現れましたよ。



【9月議会を終えて】

今定例会は、任期中の最後の定例議会となりました。あっといふ間の4年間であったような気がします。初議会、は2020年12月、新型コロナウイルス感染症が流行した年でした。初議会以降、16回の定例会で毎回一般質問に挑みました。「よっしー通信」も16号の発行となりましたが、なかなか読みやすい紙面にできませんでした。9月からは、子育て支援の充実で、休日・夜間の小児科のオンライン診療が、2025年（令和7年）3月末まで、試験的に行われています。できれば、4月以降も続くといいですね。ICTの進歩で便利になって行きますが、半面、廃業する事業者もあり、一長一短かもしれませんね。「よっしー通信」も続けて発行できるよう頑張ります。